



いちようっ子

～夢いっぱい 笑顔いっぱい 共に生きるいちようっ子～

<学校教育目標> 児童数445名

[強く] 自信をもち、心身ともに鍛える子

[正しく] 深く考え、進んで学ぶ子

[美しく] 思いやりがあり、感動する子

勇気をもって、正しい行動を！

校長 大澤 紀子

梅雨の季節、蒸し暑い日が続いております。中庭付近で1年生が栽培している朝顔の花が咲き始め、体育館と校舎の間では、2年生が育てているミニトマトが実をつけ始めています。プールからは子どもたちの元気な声が聞こえ、一人一人が目標に向かって頑張っている様子が見えます。

さて、7月の全校朝会では、「勇気をもって、正しい行動を」という話をする予定です。普段の生活の中で、「やった方が良い」と気づいたことでも、行動に表すことは難しく、勇気が必要になることがあります。

本校では、6月にJRC登録式を行いました。「JRC」とは、「Junior Red Cross」の略で、青少年赤十字のことです。いちようっ子は全員JRCに登録し、福祉委員会を中心に、ボランティアの精神をもって学校のためや周りの人のためになる活動をしていきます。JRCの態度目標は、「気づき」「考え」「実行する」です。この目標について少し考えてみたいと思います。

例えば、道路にゴミが落ちていた時に、「あっ、ゴミが落ちている。」と気づくことは、誰にでもできます。その後、どう考えるかです。「ゴミは拾った方がいいな。」と考えるか、「そのまま構わない。」と考えるかで次の行動が変わります。さらに、「拾った方が良い」と思っても、実際に「ゴミを拾う」という行動ができるか、ということが重要になります。行動することがなかなか難しいのです。他にも、もし、いたずらや間違ったことをやってしまったら、正直に話し謝ることができるか。いじめに気づいたら、いじめをやめさせるような行動ができるかということです。

私たちは、普段の生活の中で、「こうした方が良さそう」「こうした方が正しい」と気づくことはあるけれど、行動に移すにはかなり勇気が必要です。見て見ぬふりをしてしまうこともあるかもしれません。怒られるのが怖くて、正直に話せないことがあるかもしれません。でも、心の中でどんなに良いこと、正しいことを考えていても行動で表さなければ、それは周りの人へは伝わりません。もしもその行動が、いじめや命にかかわるようなことだったら、「こうしておけば良かった」では取り返しがつきません。

自分の思いや考えは、勇気をもって行動に表しましょう。子どもたちには、「やった方が良い」「正しい」と気づいたことには、勇気をもって、自分から行動できる人になってほしいと願っています。私たち教員も子どもたちに範を示せるよう行動していきたいと思っています。

【子どもたちの学校生活を支えてくださる方々】

鴻巣北小は、たくさんの地域の方々に支えていただいています。「芝生管理隊」の皆様も鴻巣北小を支えてくださる大きな力の一つです。今年度も子どもたちが元気に芝生の上で活動できるように、5月から芝生の管理をしてくださっています。年間20回の芝刈りや草取りの作業をしてくださいます。子どもたちのために一生懸命作業をくださり、感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございます。これからもよろしくお願いいたします。

